半田中学校少年少女消防クラブ

クラブの記録

徳島県つるぎ町

TOKUSHIMA

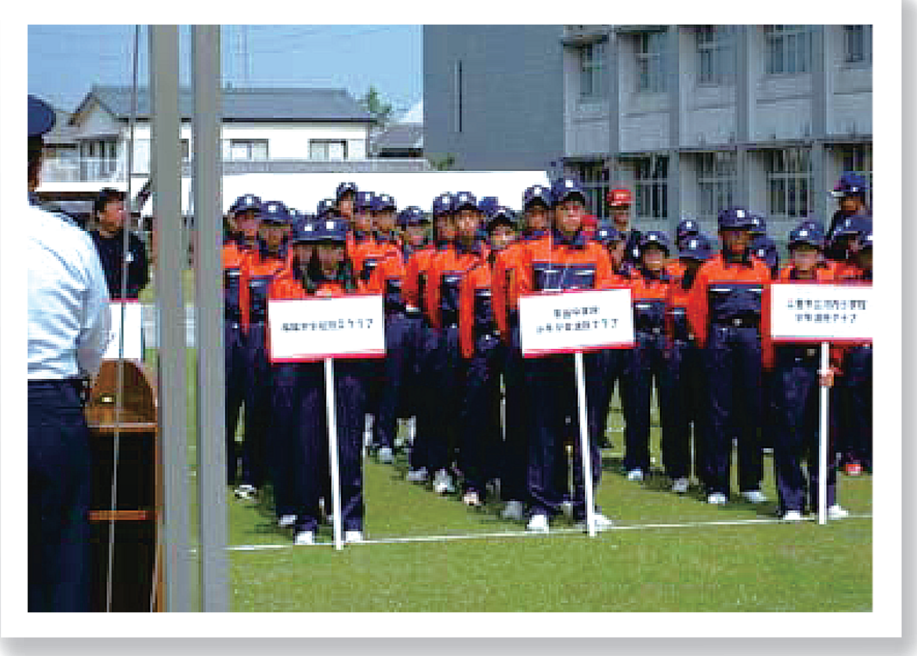
『半田中学校少年少女消防クラブ』は，災害時に自分で考え，行動できる生徒の育成をめざして，平成22年度から結成されている自主防災組織です。毎年度，２年生がその活動を引き継いでいます。

毎年度，基本的に次のような活動を行います。

年度当初，町役場の危機管理課の方や消防署の予防課の方などを招き，結成式を行います。様々な災害による被害の様子や，物資輸送など緊急支援活動について講話をしてもらい，防災学習の必要性を学びます。

その後，消防署の方の指導で，訓練礼式やロープワーク訓練を行います。整列や礼，移動を素早くきびきびと行い，全員息を合わせることで，防災活動や救助などに必要なチームワークを育てます。

また，消防署の方の指導の下，竹と毛布を使った応急担架をつくり，実際に人を運んだり，消火器による初期消火の方法を学んだりし，消防クラブの一員としての自覚を高めます。



第一回目の表現の場として，防災の日（9月1日）に，半田幼・小・中合同避難訓練の企画・運営を行います。内容は，避難の誘導・救助のデモンストレーション・応急担架の指導・消火器による初期消火の指導などが中心になります。

さらに，実際に消防署に出向いて，たくさんの訓練をします。心臓マッサージやAEDによる救急救命処置・軽可搬ポンプによる放水訓練などを指導してもらいます。

そして，最後の仕上げが，地域自主防災組織との合同避難訓練です。今までやってきたことを披露するとともに，米の炊き出しや非常食の試食，トリアージ，防災学習などを行います。

本年度は，西日本少年消防クラブ交流会が徳島県で開催されると云うことで，３年生10名が参加させてもらいました。５名は，クラブ対抗リレー・クラブ対抗障害物競争に出場し，残りの５名は，参加者全員が見守る中，軽可搬ポンプの模範操法を行わせてもらいました。

大変うれしいことに，合同訓練の総合成績では，見事，優勝をすることができました。また，模範操法も自分たちが思っている通りの演技ができ，やり遂げたあとはいい笑顔で，最高の成就感を味わうことができました。

それは，夏休みに一生懸命に練習し，しっかりと訓練した賜物であると同時に，地元の消防署である美馬西部消防組合の署員の方々の，丁寧かつ厳しい指導のおかげであります。努力することの大切さ，チームワークの有意性，感謝することなど，たくさんの自己肯定感を味わうことができたと思います。そして『半田中学校少年少女消防クラブ』の一員であり，活動してきてよかったと感じることができたと思います。

お世話になりましたたくさんの方々に感謝します。ありがとうございました。

半田中学校長　横田 智志

消防クラブ員の感想

田岡 知樹

●僕は、消防の軽可搬ポンプの練習をしてとても勉強になりました。練習ではちょっとむずかしいのもありましたが，だんだん上手にできるようになりました。本番では，大変緊張しましたがうまくできたと思います。とてもいい経験になりました。

井筒 巧

●僕は、軽可搬ポンプの模範演技をしましたが，全国大会という大舞台での演技だったので，緊張したけどうれしかったです。練習を仲間たちとがんばって本番で力を発揮できたことが特にうれしかったです。

中村 翼

●僕は,消防のリレーに出て，本当によかったです。毎日，陸上練習が終わってから消防の練習があったので、しんどかったけど優勝できたときは、みんなと一緒にがんばってきてよかったと思いました。みんなと一つになって何かを成し遂げることは達成感があってよりいっそう友情を深めることができます。だから、これからも友達と助けあっていきたいと思います。

遠藤 凌

●僕たちは、初めて消防のリレーに出ました。人数が多く最初は緊張していて，どうなるのかなーと思っていました。いざ競技が始まると自信が出てきました。そして，優勝できたのでとても嬉しかったです。

小出 悠人

●僕は、消防の大会に出てよかったです。なぜなら、チームプレイの大切さ，友達との絆を感じることができたからです。その結果が優勝につながったと思います。この経験をこれから生かしていきたいです。

村松 瑠威

●僕は、初期消火のデモンストレーションを西日本大会の大舞台ですると聞き，驚きましたが，いざ本番が来ると練習と同じようにできたのでよかったです。それに、いい経験ができたのでよかったです。

橘 侃太

●僕は、初めて消防の大会に出ました。練習していたときは，とてもしんどかったです。しかし，チームメイトとしているうちに、とても楽しくなっていました。消防の人たちも僕たちにつきっきりで練習をしてくださいました。そのおかげで優勝することができました。とても良い経験になりました。後輩たちにもがんばってほしいです。

齊藤 洋人

●僕は、初めて消防のリレーに出ました。たくさんのチームがいて，少し緊張したけど、優勝できたので良かったです。２年生の時から少年少女消防クラブに入って、いろいろな経験が出来ました。今までに学んだことをこれからも生かしていきたいです。

篠原 里樹

●僕は軽可搬ポンプの模範演技を初めてすることができてうれしかったです。指揮者としていろいろ覚えることがあったけど，本番で成功できたときの喜びは最高でした。またこういう機会があるなら体験したいです。

青木 裕貴

●僕は西日本少年消防クラブ交流会で軽可搬ポンプで初期消火の模範演技をすると聞いて，最初は嫌でした。しかし練習をするにつれ，この初期消火で人の命が助かるかもしれないと思い，本当に真剣に取り組みました。この交流会に参加して改めて命の大切さを感じました。